

箔アートでジュートバッグを作ろう



伝統技法の金箔を使ったアートに挑戦 自分だけのすてきなバッグを仕上げて笑顔

久遠流梧桐会(押絵)が箔アート体験教室を開催し、約10人が受講しました。箔アートは、伝統技法の金箔を生かしてアートを制作するもの。この日の教室は入門編で、麻バッグと紙ナプキンを使って挑戦。参加者は「難しい」「ナプキンが少し破けた」などと苦戦しながらも、すてきなオリジナルバッグを完成させていました。

〔6月23日 市民交流センター〕

西陣織国際美術館 巡回守山展



追悼 松本零士さん「ありがとう」展 「銀河鉄道999」のメーテルも西陣織に

美術品などをモチーフに織り上げた伝統工芸の西陣織展覧会が開催されました。日本や世界で著名な漫画家の松本零士さん(京都府文化観光大使)の逝去を受け、松本さんの代表作「銀河鉄道999」のメーテルをモチーフにした作品をはじめ、国宝の仏像、大河ドラマ、絵画の名作などが一堂に展示され、訪れる市民の目を楽しませていました。

〔6月15日~18日 市民ホール〕

3年生児童が地区公民館を見学



調理実習室や会議室など どんな人が利用するのか

河西小学校3年生が、総合的な学習に「河西ウオッチング」を行いました。このうち河西公民館グループ35人は、学校の近くにあってもあまりなじみのない公民館が、どんな所で、どんな人が利用するのかなどの説明を聞いて、館内を見学しました。児童たちは、赤ちゃんからお年寄りまで、さまざまな人が生涯学習やまちづくりをすると知って驚いていました。

〔6月26日 河西公民館〕

中高生サミット キックオフ



私たちが守山の未来をつくる 中高生サミットに向けて

市や地域の課題解決をめざす市内在住・在学の中高生12人が集結しました。メンバーは、自己紹介を兼ねたゲーム感覚のワークショップや、森中市長との対談を通して市の課題をクローズアップ。今後、フィールドワークなどを通じて「自分たちが地域にできることとは何か」を考え、市議会議員との意見交換を行う「中高生サミット」本番に臨みます。

〔6月25日 あまが池プラザ〕



守山市の人口

令和5年6月30日現在
(前月比)

人口	85,780 (+ 76)
男	42,232 (+ 48)
女	43,548 (+ 28)
世帯数	34,815 (+ 72)

の量が反比例していった▼
夏休みが終わる頃、私はス
イカが嫌いになっていった。
でも、祖父のことは変わら
ず好きで、ままだったので、
夏休みになると毎年スイカ
を食べていた。今はもう、
絵日記のように鮮やかで懐
かしい思い出。

(た



双眼鏡

私はスイカがあまり好きではない。小学2年生の夏休み、畑でスイカを育てていた祖父が、おやつにスイカを切ってくれそうにしてくれた。私は「おいしー!」と少し大げさに喜んでスイカを頬張った▼私は知らなかったのだ。畑のスイカが数日の間に大量に収穫されることを。次の日もその次の日も、祖父はスイカを切ってくれ続けた。数日後にはカットすることもやめて半玉出してくれるようになった。私がスイカをおいしいと思う気持ちと、祖父が出してくれるスイカの量が反比例していった▼